

ふれ愛たいはす

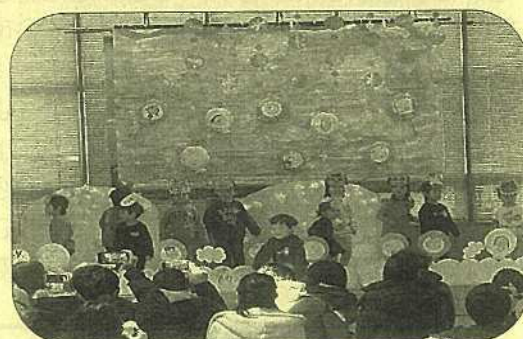
新旭公民館内
新旭青少年育成学区民会議
令和7年3月28日発行
TEL 25-5500

笑顔★えがお

「いっしょうけんめいがんばった生活発表会」 大師山さくら園

2月5日・7日の2日間にわたって3歳児以上の子どもたちによる生活発表会を開催しました。今年は、昨年度に引き続いて発表会を見に来ていただく保護者の人数制限を解除しましたことにより、たくさんのお家の方に発表会を見ていただくことができました。子どもたちは1月に入ってから取り組み始めましたが、発表会当日はたくさんのお家の方の前で特に緊張した様子もなく、みんな生き生き元気いっぱいの発表でした。3歳児にとっては、初めての発表会でしたがお家の方と一緒に最後まで元気な歌やかわいい姿を見せてくれました。4歳児は、普段園で遊んでいる縄跳び・こま回し・ダンスから選択して、それぞれの得意な技を発表しました。5歳児はみんなでセリフを言ったり、大道具や小道具を協力して作ったり、当日の進行も子どもたちで行いました。また、4歳児の時にしていた大縄跳び、縄跳びやこま回しも5歳児になってバージョンアップしていてとても見ごたえのある内容となり、園最後の発表を立派にやり遂げてくれました。どの年齢も取り組み期間の短い中で当日を迎えましたが、子どもたちが最後まで一生懸命頑張る姿が見ておられるお家の方に伝わり、とても温かい雰囲気の中で充実した内容の発表会となり、改めて子どもたちの成長を感じることができました。発表会が終わった後もダンスや縄跳び、こま回しなど年齢の枠を超えて教え合っ楽しむ姿も見られました。

園では、こからもこのような気持ちを大切に、遊びや体験を通して豊かな心でたくましく子どもたちが育っていけるよう、関わっていききたいと思っています。



朝ご飯で1日を元気にすごそう！ 安曇川学校給食センター 栄養教諭 中川

「早寝早起き朝ごはん」はできていますか？今年の冬は寒い日が続き、雪もたくさん積もりましたね。朝ご飯を食べることで体温が上がり、午前中から元気に活動することができるようになります。自分の健康を自分で管理・維持できるよう心がけましょう。

体ぽかぽかとりたまスープ

◆材料（2人分）

- ・ベーコン : 1パック
- ・ほうれん草 : 1/3袋
- ・卵 : 1～2個
- ・ごま油 : 小さじ1
- ・水 : 500ml
- ・しょうゆ : 小さじ2 > A
- ・コンソメ : 大さじ1
- ・片栗粉 : 大さじ1（大さじ2の水で溶く）

◆作り方

- ① 鍋にごま油を引き、1cm幅に切ったベーコンを炒める。
- ② ①に水とAを入れ、沸騰したら水溶き片栗粉でとろみをつける。
- ③ 3cm幅程度に切ったほうれん草を②に入れ、しんなりしたら、強火で一気に沸騰させ、溶き卵を回し入れる。
- ④ ふたをして、卵を少し固める。



来年度に向けて 副会長 橋本妙子



少しずつ春を感じる頃となりました。日頃より新旭青少年育成学区民会議に、ご支援、ご協力をいただきありがとうございます。さて、今年度もクリーンアップ（大）作戦、明るい地域づくりの標語募集やプランターへのイラスト描画、あいさつ、声かけ運動等、多くの子どもたちや地域の皆様のおかげで実施することができました。さまざまな活動の中で、子どもたちが小さなゴミも見落とさず集める姿、イラストを思い思いに描いていく姿、「どうしてこんなところにゴミを捨てるのかな」「このペットボトル、リサイクルできる？」等、自ら気づいたり、学んだりする姿に出会い、子どもたちのパワーや前のめりな姿に感動しました。大人も子どもたちとともに活動し、体験したり、つながっていくことを大切にして、今後も子どもたちの健やかな育ちを見守り、支えて行けたらと思います。これからも地域の皆様のご支援ご協力をよろしくお願いします。

青少年家庭部会 清水 潤平

青少年家庭部会では、「地域の子どもは、地域で守り育てましょう」の合言葉のもと、今年度も通学路や地域の集会場などに飛び出し防止の黄色い足形を描く「ストップ足形」の設置事業と、町内の小中学校と養護学校の子ども達に、地域づくりをテーマとした標語を募集する「明るい地域づくり」事業を中心に活動を行いました。特に今年度は、子ども会連合会の協力を得て今市区、太田区、平井区、田井区の4区で合計42カ所の足形の設置が出来ました。地域によっては、子どもたちと一緒に「ここは自動車も多いし危なよね」などと声をかけながら実施いただき、活動自体が交通安全の意識向上につながる取組として活動いただけたのではないかと思います。これからも、地域や学校、子ども会や子どもたち自身と一緒に活動し、地域まるごとで子どもを育て、子どもが地域でいきいきと活躍できるための一助になればと思います。



環境づくり部会 川妻 次美

本年も新旭養護学校高等部の皆さんと駅前花壇の花植えを行いました。花壇は事前に会員で整備し、生徒さん達とは5月に春の花植え、11月に秋の花植えを行いました。夏の暑さのために花苗がうまく育たなかったとの事で、ここにも異常気象の影響があるのか?などと言いながら作業を終えました。この日はその後、駅周辺のびっしり敷き詰められたように落ちている枯葉拾いも行いました。風が強くて中々集められなかったのですが、いろいろ工夫して拾い集め何とかもとのタイルが見える状態まで、きれいになりました。高等部の皆さんは大変礼儀正しく、作業にもまじめにコツコツと取り組まれます。さすが高等部のみなさんたちだなと感心しました。いずれ社会人になる皆さんに心からエールを送ります。



広報啓発部会 前田 代志美

繋がりと「新旭」

この2年間、朝の挨拶運動、町内の清掃活動、駅前花壇の植え替え作業等の活動に参加しました。地域に貢献する子どもたちの笑顔と保護者や地域の方々の温かい眼差しや支援が印象に残っています。子どもたちが、金網の柵の向こう側に落ちている空き缶を拾おうとしたとき。仲間と大きな金網の穴を見つけて、火箸で何とか取り出すことができました。「やったー!」と満面の笑みで、喜びを分かち合いました。それを見ていた大人も「よかったね。頑張ったね。」と声をかけ、一つの繋がりができました。こんな体験のなかで、子どもも大人も、多様な考え方や生き方に触れます。そして、互いに支え合い、感謝の思いを伝えながら、その繋がりを更に広げ、新旭の「絆」が深まります。とても素晴らしいことです。「繋がり」と「絆」を深めるための企画や催しを開催して下さる方々と保護者、地域の皆様に心からお礼申し上げます。今後とも、子ども・学校・保護者・地域が協働する持続可能な町「新旭」を目指して何か一歩踏み出したいと思っています。

